



愛媛県中小企業家同友会リーダーシップ研修 2021
「労使見解×ファシリテーション×SDGs」 企画書



1. はじめに

今年のリーダーシップ研修は「労使見解」を体験的に学びます。理屈だけで考えるのではなく、労使見解を自分たちの言葉で表現し、ワークショップファシリテーターとしての経験を積みながら、労使見解を現代にふさわしい内容にアップデートすることをめざします。

ファシリテーション (facilitation) とは、人々の活動がうまく行くよう支援し、上手に全体の舵取りをすること。社会が複雑化し答えの見えにくくなった現在、従来型のトップダウンではない、一人一人を生かす「ファシリテーター型」のリーダーが求められています。

またファシリテーションとは、ただの技術ではありません。技術よりむしろ大事なのは「あり方」つまりマインドの部分です。答えは相手の中にあり、ファシリテーターはそこにたどり着くお手伝いをする存在です。余計なことを教え込むのではなく、相手を信頼し、そこにいるメンバーが対等な立場で学び合える場作りをする。自ら気づくまで待つ。そんな「あり方」が大切です。

そしてこの「あり方」は、社員をもっとも信頼できるパートナーとして考え、「共に育ち合う」共育を重視する「労使見解」と近いものです。しかし労使見解ができた70年代は労使間の闘争が激しかったころでもあり、現代の社会状況とはだいぶ異なっています。

そこで本研修では、労使見解のなんたるかを学び、現代のファシリテーションの技術とあり方も学び、労使見解とファシリテーションの共通点、そして異なる部分を考えていきます。さらに今日の重要な命題である「SDGs」との関連性も探ります。労使闘争の時代に「パートナーシップ」や「共育」を提唱し世の中を変革してきた同友会の理念と、SDGsの中心的概念である「誰一人取り残さない」や「トランスフォーメーション=変革」は親和性が高いはずです。

本研修は、同友会理念や労使見解をアップデートし、ファシリテーションと合わせてこれからは担う経営者およびリーダーに実装することをめざします。

2. 研修概要

形式：5回連続講座

日時：7月5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)、8/2日(月) 18:30~21:00 2.5h

会場：ジョープラ3階 フリースペース会議室 (17:45入室可/予定)

テーマ：労使見解×ファシリテーション×SDGs

対象：会員・経営者および活躍を期待されている社員

定員：30名程度。通しの全講参加とする。

目的：労使見解を学び、現代風にアップデートし、ファシリテーションとともに実装する

目標：①「労使見解」を自分のことばで理解し、現代風に解釈する

②自分なりのファシリテーションを身につける

③SDGsについて学び、同友会理念との関連性を考える

各回内容：

第一回：労使見解を考える①

打ちとけ合いに必要な「アイスブレイク」プログラムを体験します。その後、労使見解を学び自分の言葉で表現します。

第二回：労使見解を考える②

もう少し深く「労使見解」を考えます。いくつかのワークを通じて労使見解が生まれた時代の背景と現代との違いを考え、現代的な労使見解のあり方を考えます。

第三回：ファシリテーションを身につける①

基礎的なワークショップを通じファシリテーターの役割や「あり方」について考えます。自分がファシリテーターになり、短いワークや会議を進行してみます。

第四回：ファシリテーションを身につける②

応用的なワークを進行し、ファシリテーターに必要な「ファシリテーターマインド」を身につけます。「労使見解」をテーマにワークを進行し、共通点、異なる点を探ります。

第五回：労使見解×ファシリテーション×SDGs

全5回の総集編として、今まで学んできた労使見解、ファシリテーションと、SDGsとの関係性を探ります。ワークを進行しファシリテーションの経験もさらに積みます。

3. 研修詳細

- ・ 組織や地域の活性化のために必要な「みんなの意見と力を引き出す」ファシリテーション力を身につけます。
- ・ 参加対象は、ファシリテーションを身につけたい方、グループ長を務めたい各支部幹事など「みんなの意見を引き出したい人」「より良い場を作りたい人」すべてです。

以上